



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成28年 2月23日(火) 第2750回 例会 (本年度第29回)

3月 6日(日)	うどん打ち家族例会
3月 8日(火)	RI規定休会
3月15日(火)	①情報委員会の日 ②元GSE 木村 日出夫 氏
3月22日(火)	ゲストスピーチ「日本刀について」公益財団法人 致同博物館 館長 酒井 忠久 氏

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長/越智 茂 昭

1 ロータリー創立記念日について

今日は、111年前の1905年2月23日にシカゴロータリクラブが誕生した日です。

ラビンドラン RI 会長からメッセージが届いています。



ロータリー創立記念日

今日、ロータリーは創立111周年を迎えました。この機会をお借りして、皆さまがロータリーで築いた友情、そして、より良い地域社会をつくるために「世界へのプレゼント」となってくださったことに、心より感謝申し上げます。

創立記念にちなむ活動や行事をまだ行っておられない場合は、ぜひ時間を割いて、この1年間に活動を通じて地域社会に変化をもたらせたことの喜びを分かち合ってください。

クラブや地区で創立記念活動を行った場合には、こちらに写真を掲載するか、ハッシュタグ「#Rotary」を使ってソーシャルメディアでご紹介ください。

よろしくお願いいたします。

RI会長 ラビンドラン

ロータリー創立111周年

写真の閲覧と共有はこちら

幹事報告

幹事/武田 啓之

○ガバナー事務所

①第2800地区ローターアクト第3回会長幹事会のご案内

日時：3月13日(日) 登録開始：9:30~

会議：10:00~12:00

会場：山形県青年の家 締切 3/1

②米山奨学生『サブ世話クラブ』募集のお知らせ
締切 1/29

③上期地区資金 新入会員地区賦課金・地区大会登録料ご送金をお願い

○米山記念奨学会

ハンドブック送付及び提出物の件

1 2015.4月~2016年3月奨学金受領確認書
(締切 3月末)

2 2016.3月カウンセラーの所見(締切 3月末)

3 継続カウンセラー 奨学生資格確認報告
(締切 4月末)

カウンセラーハンドブック

奨学生ハンドブック

鶴岡の町名について

元鶴岡市職員 阿部 匡一 氏



ただ今ご紹介頂きました阿部匡一と申します。本日は鶴岡の町名についてお話しさせていただきます。レジメにある旧町名と新町名の境目は、住居表示をした前と後ということになります。旧町名とその由来として馬場町から始まっ

ていますが、これらは鶴岡市のホームページに載っております。誰でも閲覧できます。

馬場町

「最上氏時代には七日町・上肴町などの町人町があり」と始まっていますが、間違いで「上肴町」ではなくて「肴町があった」です。もともと今の内川のところを赤川が流れていて、赤川から東側、南側というのは湿地帯でした。赤川はすごい暴れ川でし

出席報告	会員数	35名
	出席	25名
	出席率	75.76%
	前回回確定出席率	78.79%

■RI会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン ■地区ガバナー 酒井 彰

■会長/越智茂昭 ■副会長/木村 節 ■幹事/武田啓之 ■会長エレクト/加藤 亨
■会報委員会/佐藤詩郎・阿部純次・菅原成規

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

た。「外内島」など島の地名が残っている所は高台になっていて、人の住める所という意味で「島」という地名が残っています。

最上氏時代（1602～1622）、赤川は今のような流れに改修されました。そのお蔭で内川が随分おとなしくなりました。本町一丁目から昭和通、今の神明町あたりまで人の住める乾いた場所になりました。そこに1622年庄内藩酒井家が入部して来ました。

上土屋敷、学校（致道館）、御厩等があり、御厩には乗馬訓練のための馬場があった所から馬場町と命名されました。北から馬場町・馬場町五日町口・同三日町口・同十日町口と称されていましたが明治13年に合併して馬場町となりました。

日本では、地番が住所です。鶴岡市高坂字鉢ヶ森11番（地番）に住んでいる人は、鶴岡市高坂字鉢ヶ森11番地（住所）になります。「何町何番地」と呼ばれる番地は全国的に定められたものですが、もともと土地の番号である地番をそのまま住居を表す番地に使ったので、住居を表す合理的な表し方ではありませんでした。人の訪問、集金、集配、行政事務など住居を探すのに大変不便で、ことに郵便・電報の配達には支障が多かったのです。

このような状況をなくすために、昭和37年5月「住居表示に関する法律」が定められ、鶴岡市でもこの法律に基づいて、昭和40年から市街地を新しい住居表示に切り替えることになりました。法律では、「街区方式」または「道路方式」のどちらかによって定めることになっていましたが、鶴岡市では「街区方式」で行うことにしました。

街区方式によると住居は町（丁目）の名称と街区符号と住居番号を使って表されます。道路に囲まれた区画のひとつを街区とします。その中で鶴岡駅に一番近い所が一番一号になります。街区の周囲を時計回りに10メートルごとに線を引いていきます。その周囲に鶴岡駅に近い方から一番、二番、三番と番号を付けます。その結果として例えば「道形町一番一号」というようになりました。

住居表示審議会では区画を決めていき、それまであった旧町名から、今の新町名にどんどん切り替えていきました。ですから昔の町名が割れて入ってしまった例もあります。町名が無くなったからといって町内会が無くなったわけではありません。陽光町にもひとつ、ふたつあります。住居表示審議会では「町」を「まち」で統一しようとしていました。ただどうしてもゴロが悪い場合「ちょう」でも可としています。そして町の名前を決める場合には、そこに住んでいる人達でいろんな方法で決めることになっています。アンケートを取った例、市全体から公募した例などがあります。それから何人かの人を選んで町名選定委員会を組織した例もあります。そこで決めた原案を住居表示審議会に掛け、承認されて、日吉町とか美咲町になる訳です。

鳥居町

いまから七、八百年前赤川が乱流時代に鳥居町は赤川の河原でした。その赤川河原に羽黒山の「一の鳥居」があり、羽黒山参りの人たちはこの一の鳥居が起点でそばには身を清める「口すぎ所」もありました。この一の鳥居は今でもあります。本町一丁目、車で行くと川端通りから大泉橋を渡りますとすぐ十字路があります。そこを右に川沿いに進むと常源寺が左側にあります。その境内に石造りの鳥居があり、それが羽黒山の一の鳥居です。羽黒山への起点というだけではなく、一の鳥居を拝むと羽黒山を参拝したと同様の御利益があると言い伝えられ、そういう由緒あるところから今も鳥居町という名前です。

役所のホームページでいくらでも見られますのでご覧ください。

おまけですが、庄内地方で山間部の立川町や羽黒町は豪雪地帯ということで昔から雪害の補助金がありました。ところが酒田市や鶴岡市は積雪量が足りないということで何も冬場の補助金がありませんでした。そこで昭和55年に庄内14市町村（当時）で庄内地域地吹雪調査研究会を立ち上げ、雪の害を調査し、一旦積もった雪が飛んでいくという地吹雪の概念を発表、この論文で地吹雪と吹雪で被害を受けているということを発表し、気象用語としても使われるようになりました。この論文は私が書いたものです。このことを発表する機会を作っていただいた阿部さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

阿部 匡一氏 略歴

- 生年月日 昭和27年1月 鶴岡市生まれ
- S45.3 山形県立庄内農業高等学校卒業 自家で就農、稲作専業
- S52.3 東海大学政治経済学部卒業 鶴岡地区消防事務組合消防吏員採用
- H3.4 鶴岡市事務吏員に任命
産業部農林水産課勤務
- H9.4 総務部企画調整課付勤務
- H10.4 建設部土木課幼稚係勤務
- H12.4 産業部観光物産課勤務
- H14.4 環境衛生部衛生課勤務
- H15.4 市民部市民課総務係勤務
- H19.4 鶴岡市農業委員会事務局勤務
- H24.3 鶴岡市役所 定年退職



阿部純次君 時間がない中スピーチありがとうございました。

越智茂昭君 貴重なお話本当にありがとうございました。